

館内企画展2013年度

平和祈念展示資料館

2013年度

2014年2月5日

企画展『従軍カメラマンの記録 小柳次一写真展』
後期

日時：平成26年2月15日(土)～3月23日(日)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2013年11月6日

企画展『従軍カメラマンの記録 小柳次一写真展』

日時：平成26年1月8日(水)～3月23日(日)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2013年11月5日

企画展『抑留生活の記憶』 後期：絵画にみる抑留生活

日時：平成25年11月11日(月)～12月25日(水) 午
前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2013年8月27日

企画展『抑留生活の記憶』

日時：平成25年9月25日(水)～12月25日(水)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2013年8月21日

企画展－子どもたちの引揚げ－『引揚げ漫画原画展』 後期

日時：平成25年8月19日(月)～9月23日(月・
祝) 午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2013年6月15日

企画展 -子どもたちの引揚げ- 『引揚げ漫画原画展』

日時：平成25年7月17日（水）～9月23日（月・祝）午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



2013年4月2日

企画展 『平和祈念展示資料館 未公開資料展』

日時：平成25年4月23日（火）～7月15日（月・祝）午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



企画展『平和祈念展示資料館 未公開資料展』

今回の企画展では、当資料館が所蔵する資料の中から、満州に派遣された従軍看護婦が使用した医療器具、ソ連軍の侵攻により廃校となった旧制星輝中学校に関する資料など、常設展や企画展では展示していない貴重な未公開資料を紹介します。本展を通して、より多くの方々が関係者の労苦への理解を深めていただければ幸いです。

- 日 時** 平成25年4月23日（火）～7月15日（月・祝）
午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）
休館日：5月27日（月）、6月24日（月）
- 会 場** 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



◎会期を前期と後期に分け、一部展示替えを行います。

- 前期：4月23日（火）～5月26日（日）
- 後期：5月28日（火）～7月15日（月・祝）

■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。
企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。
日時：5月11日（土）、6月15日（土）各日午後2時～（約30分）
会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



防寒作業衣



陸軍防寒靴



手製スプーン

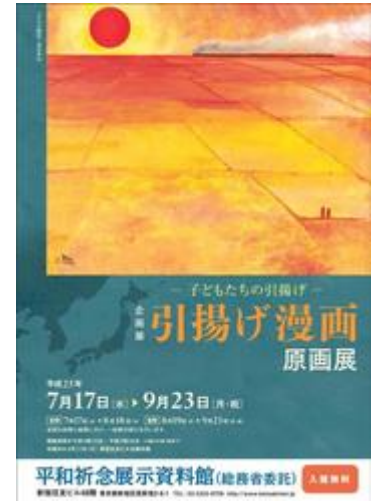


星輝中学校校旗

企画展 - 子どもたちの引揚げ - 『引揚げ漫画原画展』

昭和20（1945）年8月15日に終戦を迎え、満州（現・中国東北部）で暮らしていた日本人の生活は暗転します。多くの人が、持てるものをリュックに詰め、上の子は下の子の手をとって、はるか遠い日本を目指して引揚げの途につきました。日本に帰ることができず中国に残留した子どもたちや、親を亡くして兄弟だけで帰国した子どもたちもいました。

今回の企画展は、子どもたちの引揚げをテーマに、当時子どもだった漫画家たちが自らの体験を描いた作品を中心に構成します。また、関連する実物資料を交えて、子どもの目にとらえた満州の生活や引揚げの労苦を紹介します。



日時 平成25年7月17日（水）～9月23日（月・祝）
午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）
休館日：8月25日（日）

会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

◎会期を前期と後期に分け、一部展示替えを行います。

■前期：7月17日（水）～8月18日（日）

■後期：8月19日（月）～9月23日（月・祝）

■ ■ ギャラリートーク ■ ■

当資料館学芸員が展示解説を行います。

企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。

日時：8月31日（土）、9月7日（土）各日午後2時～（約30分）

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

トークイベント 森田拳次さん（漫画家）× 豊永ひとみさん（アニメ製作プロデューサー）

満州から引き揚げた森田拳次さんが、アニメ製作を通して引揚げ漫画家上田トシコさんと親交を深めた豊永ひとみさんとともに、満州を舞台とした作品や引揚げ体験について語ります。

日時：7月20日（土）午後2時～（約60分）

会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター

トークイベント 増田昭一さん（作家）× 一龍齋貞友さん（講談師・声優）

「金のひしゃく」「来なかったサンタクロース」「ともちゃんのおへそ」の作者増田昭一さんが、満州の収容所で出会った孤児たちの思い出や、帰国までの体験について語ります。

講談師で声優の一龍齋貞友さんが司会進行と読み語りをを行います。

日時：8月10日（土）午後2時～（約60分）

会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター



《ブローカー市で着物は売れた》（前期展示）
上田トシコ



《ともちゃんのおへそ》（前期展示）
ちばてつや



《ソ連兵はやっぱりこわかった》（後期展示）
山内ジョージ



《引揚船上から見た日本は本当に美しかった》
（後期展示） 北見けんいち

企画展－子どもたちの引揚げ－『引揚げ漫画原画展』 後期

昭和20（1945）年8月15日に終戦を迎え、満州（現・中国東北部）で暮らしていた日本人の生活は暗転します。多くの人が、持てるものをリュックに詰め、上の子は下の子の手をとって、はるか遠い日本を目指して引揚げの途につきました。日本に帰ることができず中国に残留した子どもたちや、親を亡くして兄弟だけで帰国した子どもたちもいました。

今回の企画展は、子どもたちの引揚げをテーマに、当時子どもだった漫画家たちが自らの体験を描いた作品を中心に構成します。また、関連する実物資料を交えて、子どもの目がとらえた満州の生活や引揚げの労苦を紹介します。

日時 平成25年8月19日（月）～9月23日（月・祝）
午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）
休館日：8月25日（日）

会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

◎会期を前期と後期に分け、一部展示替えを行います。

■前期：7月17日（水）～8月18日（日）

■後期：8月19日（月）～9月23日（月・祝）

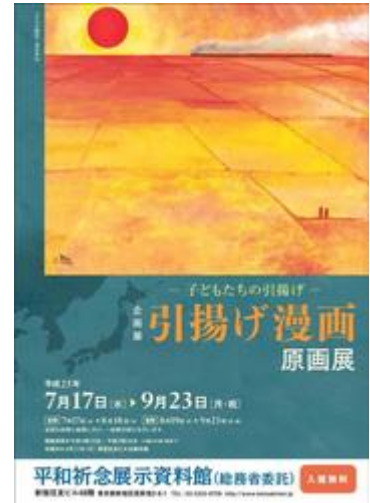
■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。

企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。

日時：8月31日（土）、9月7日（土）各日午後2時～（約30分）

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



《ソ連兵はやっぱりこわかった》（後期展示）
山内ジョージ



《引揚げ船上から見た日本は本当に美しかった》
（後期展示） 北見けんいち

企画展『抑留生活の記憶』

前期：絵画にみるラーゲリ 後期：絵画にみる抑留生活

さきの大戦が終結したにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルなどに抑留され、劣悪な生活環境の中、労働に従事させられた戦後強制抑留者は約57万5千人におよびました。帰国した抑留者たちは、抑留生活の記憶を絵画やスケッチで残しました。なかでも過酷な労働や厳しい寒さの様子を描いたものが数多く残されています。

今回の企画展では、これらの絵画・スケッチの中から、抑留者たちが暮らしていたラーゲリ（収容所）とそこでの生活を描いた作品を各地区の特徴とあわせて紹介します。また、抑留生活で使用し、持ち帰ることができた品々から、手製のものを中心に展示します。



日時 平成25年9月25日(水)～12月25日(水)
午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
休館日：10月28日(月)、11月25日(月)

会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

◎会期を前期と後期に分け、一部展示替えを行います。

- 前期：「絵画にみるラーゲリ」9月25日(水)～11月10日(日)
- 後期：「絵画にみる抑留生活」11月11日(月)～12月25日(水)

■ ■ ギャラリートーク ■ ■

当資料館学芸員が展示解説を行います。
企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。
日時：10月19日(土)、11月30日(土) 各日午後2時～(約30分)
会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

映画上映「異国の丘」

抑留者の間で歌われていた吉田正作曲「異国の丘」をモチーフとした、抑留者の日本送還に関する米ソ協定が成立した頃の様相を描いた作品を上映します。原作：芹沢光治良「夜毎の夢に」(1948年真光社刊) 昭和24(1949)年公開作品 監督：渡辺邦男 出演：上原謙・花井蘭子・吉田正ほか。©国際放映



日時：10月5日(土)、26日(土)、11月16日(土)、12月7日(土) 各日午後2時～(約90分)
会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター

ビデオ上映「抑留者の証言映像」

抑留中の労働で受けた怪我や発症した病気などの労苦に関する証言映像を上映します。
映像提供：しょうけい館

日時：会期中毎日午後2時～(上映時間約30分)
会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター
※他のイベント、ギャラリートーク実施日の上映はありません。



「タンポフ・ラーダの森」中家正尚 (前期)



「ナリリスク第5収容所」斎藤操 (前期)



「壁新聞」早田貴一 (後期)



「シベリア大工」佐藤清 (後期)

企画展『抑留生活の記憶』 後期：絵画にみる抑留生活

さきの大戦が終結したにもかかわらず、シベリアを始めとする旧ソ連やモンゴルなどに抑留され、劣悪な生活環境の中、労働に従事させられた戦後強制抑留者は約57万5千人におよびました。帰国した抑留者たちは、抑留生活の記憶を絵画やスケッチで残しました。なかでも過酷な労働や厳しい寒さの様子を描いたものが数多く残されています。

後期展示では、これらの絵画・スケッチの中から、抑留者たちが暮らしていたラーゲリ(収容所)での生活を描いた作品を各地区の特徴とあわせて紹介します。また、抑留生活で使用し、持ち帰ることができた品々から、手製のものを中心に展示します。

日 時 平成25年11月11日(月)～12月25日(水)
午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
休館日：11月25日(月)

会 場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー



■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。
企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。
日時：11月30日(土) 午後2時～(約30分)
会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

映画上映「異国の丘」

抑留者の間で歌われていた吉田正作曲「異国の丘」をモチーフとした、抑留者の日本送還に関する米ソ協定が成立した頃の様相を描いた作品を上映します。

原作：芹沢光治良「夜毎の夢に」(1948年 真光社刊) 昭和24(1949)年公開作品
監督：渡辺邦男 出演：上原謙・花井蘭子・吉田正ほか。©国際放映

日時：11月16日(土)、12月7日(土) 各日午後2時～(約90分)
会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター



ビデオ上映「抑留者の証言映像」

抑留中の労働で受けた怪我や発症した病気などの労苦に関する証言映像を上映します。
映像提供：しょうけい館

日時：会期中毎日午後2時～(上映時間約30分)
会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター
※他のイベント、ギャラリートーク実施日の上映はありません。



「壁新聞」 早田貫一(後期)



「シベリア大工」 佐藤清(後期)

企画展『従軍カメラマンの記録 小柳次一写真展』

当資料館では、さきの大戦に従軍したカメラマン・小柳次一氏が撮影した写真を所蔵しています。

小柳氏は、昭和13(1938)年から約8年間、陸軍省報道部の嘱託および軍属として、中国各地やフィリピン、国内の陸軍飛行場などで写真を撮影しました。兵士と寝食を共にしたカメラマンにしか撮ることができない写真の数々は、『写真週報』などの戦時中のグラフ誌に多数掲載されました。

今回の企画展では、小柳氏が撮影した写真を中心に、『写真週報』や陸軍省関連の出版物、従軍日記などを展示します。

国のために家族を残し、危険な戦地へ向かい、命をかけて戦務に従事した兵士たちの姿を感じていただければ幸いです。

※本企画展より、企画展示コーナーを拡張し、さらに内容を充実させていきます。



日 時 平成26年1月8日(水)～3月23日(日)
午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)
休館日：2月2日(日)

会 場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

◎会期を前期と後期に分け、一部展示替えを行います。

■前期：1月8日(水)～2月14日(金)

■後期：2月15日(土)～3月23日(日)

【小柳次一氏プロフィール】

小柳次一(こやなぎつぐいち) 明治40(1907)年～平成6(1994)年

福岡県生まれ。東京学芸通信社、写真通信社などの写真部を経て、昭和12(1937)年、名取洋之助の日本工房に入社。同社から上海派遣軍特務部報道班の嘱託となり、上海に赴任する。以後、終戦まで陸軍省報道部のカメラマンとして撮影を続ける。戦後は『週刊サンニユース』やINP通信などで報道カメラマンとして活躍。平成6(1994)年8月3日、引退先の宮崎にて87歳で死去。

■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。日時：1月25日(土)、3月1日(土) 各日午後2時～(約30分)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

■■ビデオ上映■■

「時代を切り撮った男 小柳次一87歳」

兵士のありのままの姿にこだわり、写真を撮り続けた従軍カメラマン・小柳次一氏について、エピソードを交えながら紹介したドキュメンタリー作品です。

(MRT宮崎放送製作)

日時：平成26年1月8日(水)～2月14日(金) 午後2時～(約50分)

会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター

「塔は黙して語らず "特攻義烈空挺隊の真実"」

昭和20(1945)年5月24日、沖縄の米軍飛行場に強行着陸し、航空機及び軍事施設を破壊して基地を制圧する作戦を行った義烈空挺隊の真実を様々な資料から検証したドキュメンタリー作品です。(MRT宮崎放送製作 1998年JNNネットワーク

協議会報道部門奨励賞)

日時：平成26年2月15日(土)～3月23日(日) 午後2時～(約50分)

会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター

※他のイベント、ギャラリートーク実施日の上映はありません。



水筒の水を分け合う兵士(通期展示)

当資料館では、さきの大戦に従軍したカメラマン・小柳次一氏が撮影した写真を所蔵しています。

小柳氏は、昭和13（1938）年から約8年間、陸軍省報道部の嘱託および軍属として、中国各地やフィリピン、国内の陸軍飛行場などで写真を撮影しました。兵士と寝食を共にしたカメラマンにしか撮ることができない写真の数々は、『写真週報』などの戦時中のグラフ誌に多数掲載されました。

今回の企画展では、小柳氏が撮影した写真を中心に、『写真週報』や陸軍省関連の出版物、従軍日記などを展示します。

後期展示では、徐州を目指して、延々と麦畑の中を進む兵士たちの写真など、前期と一部作品を入れ替えて展示します。

国のために家族を残し、危険な戦地へ向かい、命をかけて戦務に従事した兵士たちの姿を感じていただければ幸いです。



日時 平成26年2月15日(土)～3月23日(日)
午前9時30分～午後5時30分(入館は午後5時まで)

会場 平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

【小柳次一氏プロフィール】

小柳次一(こやなぎつぐいち) 明治40(1907)年～平成6(1994)年

福岡県生まれ。東京学芸通信社、写真通信社などの写真部を経て、昭和12(1937)年、名取洋之助の日本工房に入社。同社から上海派遣軍特務部報道班の嘱託となり、上海に赴任する。以後、終戦まで陸軍報道部のカメラマンとして撮影を続ける。戦後は『週刊サンニユース』やINP通信などで報道カメラマンとして活躍。平成6(1994)年8月3日、引退先の宮崎にて87歳で死去。

■■ギャラリートーク■■

当資料館学芸員が展示解説を行います。企画展の見どころや展示資料にまつわるエピソードを紹介します。日時：3月1日(土) 午後2時～(約30分)

会場：平和祈念展示資料館 企画展示コーナー

■■ビデオ上映■■

「塔は黙して語らず "特攻義烈空挺隊の真実"」

昭和20(1945)年5月24日、沖縄の米軍飛行場に強行着陸し、航空機及び軍事施設を破壊して基地を制圧する作戦を行った義烈空挺隊の真実を様々な資料から検証したドキュメンタリー作品です。

(MRT宮崎放送製作 1998年JNNネットワーク協議会報道部門奨励賞)

日時：平成26年2月15日(土)～3月23日(日) 午後2時～(約50分)

会場：平和祈念展示資料館 ビデオシアター

※他のイベント、ギャラリートーク実施日の上映はありません。



徐州を目指して、延々と麦畑の中を進む兵士たち
(後期展示)